

たかおさん しぜん 高尾山の自然



▲^{たかおさん}高尾山の^{ばやし}カツラ林 (裏^{うら}高尾^{たかおまち}町)

^{たかおさん}高尾山は^{はちおうじ}八王子市の西にある^{ひょうこうやく}標高約599mほどの山です。^{しぜんりん}自然林が^{ひろ}広く残っているため、^{しょくぶつ}植物の種類が^{ひじょう}非常に多く、^{おお}約1600種類の^{ぶんぷ}分布が^{ほうこく}報告されています。また、^{こんちゅう}昆虫の種類も^{おお}多く、^{やく}約5000種類に^{たつ}達するそうです。このため^{おおさか}大阪の^{みの}箕面山、^{きょうと}京都の^{きぶねやま}貴船山とともに、^{にほん}日本の^{こんちゅう}昆虫の^{さんだいせいそくち}三大生息地として^し知られてきました。^{やちよう}野鳥や^{にゅうるい}ほ乳類も、^{しぜん}たくさんの種類が^{せいそく}生息しています。^{どうしょくぶつ}動植物の^{ほうこ}宝庫である^{たかおさん}高尾山の^{しぜん}自然について^{しら}調べてみましょう。

植物が豊かな理由は？

大きく2つの理由があります。ひとつは高尾山全体が古くから信仰の対象となり、高尾山薬王院の寺領(お寺の持っている土地)として、森林が保護されてきたためです。現在は大部分が国有林となっており、昭和25年(1950年)には都立高尾陣場自然公園、昭和42年(1967年)には明治の森高尾国定公園に指定されて、大切に自然が保護され続けています。

そしてもうひとつは、高尾山が暖温帯と冷温帯のちょうど境目に位置しているために、両帯の植物が入りまじって生育し、このために種類が多いというものです。

3種類の天然林

高尾山の森林は、天然林(自然のままの林)と人工林(人間が植えた林)からなりたっています。人工林には江戸時代に植えられたスギなどがあります。天然林は、モミやアカマツなどの針葉樹(針のようにとがった葉を持つ木)の林、カシ類などの常緑広葉樹(一年じゅう葉が緑色をしているはばが広くて平たい葉を持つ木)の林、ブナなどの落葉広葉樹(冬になると葉が落ちる木)の林の3つに分かれています。また、山の上部では、北斜面に落葉広葉樹林、南斜面に常緑広葉樹林が見られますが、南北で対照的なこのようすは、高尾山の森林の特徴でもあります。

高尾山の天然林の主な分布

常緑広葉樹林	南側斜面・ 北側斜面下部	カシ類(アカガシ・ツクバネガシ・ウラジロガシ・アラカシ・シラカシ)・ヤブツバキ・シロダモ・カゴノキ・サカキなど
落葉広葉樹林	北側斜面上部	イヌブナ・ブナ・アサダ・オオモミジ・アカシデなど
針葉樹林	尾根 (山の頂上から頂上へと続いている部分)	モミ・アカマツ・カヤなど

たくさんの植物

このように、いろいろな林からなっている高尾山には、それぞれの環境に応じてたくさんの植物が生育しています。それらのなかにはタカオスミレ・タカオヒゴダイ・タカオイノデなど、高尾山で最初に発見されたところからその名前がつけられたものも少なくありません。これらの植物は季節に応じていろいろな姿を見せ、私たちを楽しませてくれます。

豊かな生態系

いろいろな林があって、植物の種類が多いということは、それだけ、そこにすむ動物の種類も多いといえます。高尾山には昆虫たちのエサとなる草や木がたくさん用意されているので、いろいろな種類のチョウやトンボなどがすんでいます。

また、観察しやすく、数も多いのが野鳥です。高尾山で記録された野鳥は100種類以上にものぼり、東京都でも代表的な探鳥地として知られています。ほ乳類では、キツネ・タヌキ・アナグマ・テン・ムササビなど30種近くの生息が確認されていますが、個体数が少なかったり、夜行性だったり、私たちの目の前にはあまり姿を見せてくれません。それでも、足跡や糞などからすんでいることはわかります。

高尾山に登ってみましょう

高尾山には、豊富な自然を観察するために、1～6のテーマ別の自然研究路のほか、各登山コースが整備されています。

1号路:高尾山の自然

2号路:高尾山の植物

3号路:高尾山の森

4号路:森と動物

5号路:人と自然

6号路:森と水

稲荷山コース

高尾山・陣馬山コース



▲ 高尾登山電鉄公式サイトより

興味のあるテーマを見つけて、実際に登ってみて、高尾山の自然を体で感じてみませんか？

調べてみましょう

ひとつのテーマについて調べる時、何冊かの本を調べることは、とても大切なことです。次にあげる参考文献は、図書館にある本の中で、小・中学生のみなさんにもわかりやすいものです。自分で調べ、まとめてみましょう。市内のどの図書館に所蔵しているかは館内OPACで検索、または職員へおたずねください。

※☆印のついているものは、特に小学生におすすめのものです。

☆『郷土みてあるき』 八王子市生活文化部広報課／編 1995年

小学校の先生が、八王子の歴史や、八王子に関係する人物や動・植物、事柄を小学生にもわかるようにやさしく解説。

☆『山の自然教室』 小泉武栄／著 2003年

気軽に登れる高尾山から日本アルプスの山々まで、地形・地質、高山植物などバラエティーに富んだ自然の宝庫をガイドする。

『高尾山と多摩丘陵』 ネイチャーネットワーク企画編集室／著 2002年

高尾山・陣馬山周辺、多摩丘陵に残る里山の自然を紹介。

『高尾599ミュージアムネイチャーブック』 TAKAO 599 MUSEUM／著 2015年

高尾山に生息する植物、動物、昆虫などの資料を集めて研究し解説している。

☆『高尾山自然観察ガイド』 茅野義博／著 2005年

高尾山の動植物が、たくさんの写真とともに紹介されている。「これなんだかわかる？」といったクイズもあり、たのしく学べる一冊。

☆『高尾山花と木の図鑑』 菱山忠三郎／著 2001年

高尾山を代表するような植物を紹介。写真が豊富でわかりやすく、また、高尾山固有の植物については別項を設けて紹介している。

『高尾山自然観察手帳』 新井二郎／著 2009年

高尾山の動植物、気象、歴史をわかりやすく紹介。

『季節ごとに探せる！高尾山の昆虫430種！』 藤田宏／著 2015年

高尾山やその周辺地域で観察できる昆虫について写真の解説を中心に紹介。

●インターネット情報 (最終確認日2022年8月17日)

「高尾登山電鉄公式サイト」 <http://www.takaotozan.co.jp/>

「TAKAO599MUSEUM」 <http://www.takao599museum.jp/>

編集・発行 八王子市中央図書館

平成29年(2017年)1月

令和4年(2022年)8月 改訂